

- シンプルでわかりやすい防災気象情報の再構築に向け、防災気象情報全体の体系整理や個々の情報の見直し、受け手側の立場に立った情報への改善などを取りまとめ。

警戒レベル相当情報の体系整理

◎ シンプルでわかりやすい情報体系・名称に整理

【洪水】：氾濫による社会的な影響が大きい河川（洪水予報河川、水位周知河川）の外水氾濫を対象とし、河川ごとの情報とする。これ以外の河川の外水氾濫については、内水氾濫と併せて市町村ごとに発表する【大雨浸水】に関する情報とする※1。

【土砂災害】：発表基準の考え方を統一し、災害発生の確度に応じて段階的に発表する情報とする。

【高潮】：潮位に加えて沿岸に打ち寄せる波の影響を考慮し、災害発生又は切迫までの猶予時間に応じ段階的に発表する情報とする。

	洪水に関する情報		大雨浸水に関する情報 ※1		土砂災害に関する情報	高潮に関する情報	警戒レベル相当情報以外の特別警報、警報、注意報
	氾濫による社会的影響が大きい河川（洪水予報河川、水位周知河川）の外水氾濫		内水氾濫及び左記以外の河川の外水氾濫				
発表単位	河川ごと		基本的に市町村ごと		基本的に市町村ごと	沿岸ごと又は市町村ごと※2	基本的に市町村ごと
警戒レベル相当情報	5相当	レベル5 氾濫特別警報(氾濫発生)	レベル5 大雨特別警報		レベル5 土砂災害特別警報	レベル5 高潮特別警報	警戒レベル相当情報としての位置付け無し ○特別警報 ○警報 ○注意報 例：暴風、大雪等
	4相当	レベル4 氾濫警報	レベル4 大雨警報		レベル4 土砂災害警報	レベル4 高潮警報	
	3相当	レベル3 氾濫警報	レベル3 大雨警報		レベル3 土砂災害警報	レベル3 高潮警報	
	2	レベル2 氾濫注意報	レベル2 大雨注意報		レベル2 土砂災害注意報	レベル2 高潮注意報	

情報名称の最終決定は、法制度や実際の情報の運用、伝え方なども踏まえ、気象庁・国土交通省が行う。

※1 警戒レベル相当情報への位置づけについては、関係機関で今後の課題として検討。

※2 発表単位をどうすべきかについては、情報利用者の視点も踏まえつつ、引き続き関係機関で検討。

解説情報の体系整理

◎ 情報の性質を把握できるよう分類して提供

- 線状降水帯をはじめとした具体的な極端現象が発生または発生しつつある場合にその旨を伝える「極端な現象を速報的に伝える情報」と、現在及び今後の気象状況等を網羅的に伝える「網羅的に解説する情報」に分類して提供。
- それぞれの区別がつくよう統一的な情報名称とし、「線状降水帯」などのキーワードを付すことにより情報へのアクセスを改善。

極端な現象を速報的に伝える情報・・・「気象防災速報」

現在

- 顕著な大雨に関する気象情報
- 記録的短時間大雨情報
- 顕著な大雪に関する気象情報
- 竜巻注意情報

整理後

- 気象防災速報（線状降水帯発生）
- 気象防災速報（記録的短時間大雨）
- 気象防災速報（短時間大雪）
- 気象防災速報（竜巻注意／竜巻目撃）

網羅的に解説する情報・・・「気象解説情報」

現在

- 全般/地方/府県気象情報
- 全般台風情報

整理後

- 気象解説情報（※）
- 気象解説情報（台風第〇号）

※何に着目した情報なのかがわかるよう、括弧内にキーワードを付す。

防災気象情報の最適な活用に向けて

- 防災気象情報の基盤となるデータの提供の更なる推進と共に、コンピュータで容易に処理できるよう機械可読性の改善も進める必要。
- 「プッシュ型」の防災気象情報とあわせて、ホームページ等に掲載する「プル型」のコンテンツの活用を推進すると共に、当該コンテンツの充実を図ることが重要。
- 防災気象情報を受け取った者が自ら考え主体的に行動することができる社会の実現を目指し、以下を推進する必要。
 - 防災気象情報の特徴・特性に対する理解が社会において深まるよう、平時から知見を積み上げられる環境の構築（ホームページへの解説資料の掲載等）
 - 国による普及啓発活動に加え、様々な関係主体（教育機関、専門家、報道機関等）による普及啓発活動の推進

現状

洪水に関する情報					大雨浸水に関する情報	
分類	洪水予報河川	水位周知河川		洪水予報河川・水位周知河川以外の河川		
河川数	429河川	1,774河川		約20,000河川※1	—	
発表主体	河川事務所または都道府県と气象台	河川事務所または都道府県	气象台	气象台	气象台	
発表単位	河川ごと	河川ごと	市町村ごと	市町村ごと	市町村ごと	
対象とする現象	外水氾濫	外水氾濫	外水氾濫 湛水型の内水氾濫	外水氾濫 湛水型の内水氾濫	内水氾濫による浸水 (外水氾濫による浸水※2)	
発表指標	【2~4相当】 水位 (実測・予測) 【5相当】 実現象 (確認)	【2~4相当】 水位 (実測のみ) 【5相当】 実現象 (確認)	流域雨量指数 表面雨量指数 (解析・予測)	流域雨量指数 表面雨量指数 (解析・予測)	表面雨量指数 (流域雨量指数※2) (解析・予測)	
情報名称	5相当	氾濫発生情報	氾濫発生情報		【5相当】大雨特別警報 (浸水害) ※2	
	4相当	氾濫危険情報	氾濫危険情報			
	3相当	氾濫警戒情報	氾濫警戒情報	洪水警報	洪水警報	大雨警報 (浸水害) 大雨注意報 警戒レベル相当情報としての位置づけなし
	2 (相当)	氾濫注意情報	氾濫注意情報	洪水注意報	洪水注意報	

※1 洪水キキクルで対象としている河川数 (準用河川や普通河川も含まれる)
 ※2 大雨特別警報(浸水害)のみ外水氾濫も対象とする



改善 (イメージ)

洪水に関する情報				大雨浸水に関する情報
分類	洪水予報河川	水位周知河川		(洪水予報河川・水位周知河川以外 (その他河川) の洪水に関する情報を含む)
河川数	429河川	1,774河川		—
発表主体	河川事務所または都道府県と气象台	関係機関が協力して発表		气象台
発表単位	河川ごと	河川ごと		市町村ごと
対象とする現象	外水氾濫	外水氾濫		内水氾濫による浸水 (湛水型の内水氾濫も含む) その他河川の外水氾濫
発表指標	【2~4相当】 水位 (実測・予測) 【5相当】 実現象 (確認)	【2~4相当】 水位 (実測のみ)	【流域雨量指数※3】 (解析・予測)	表面雨量指数 流域雨量指数 (解析・予測)
情報名称	5相当	レベル5 氾濫特別警報 (氾濫発生)	レベル5氾濫特別警報 (氾濫発生)	レベル5大雨特別警報
	4相当	レベル4 氾濫警報	レベル4氾濫警報	レベル4大雨警報
	3相当	レベル3 氾濫警戒情報	レベル3氾濫警戒情報	レベル3大雨警報
	2 (相当)	レベル2 氾濫注意情報	レベル2氾濫注意情報	レベル2大雨注意報

※3 住民等に対し今後の水位の見込みを伝える際に活用

警戒レベル相当情報に位置付けること等について、今後の課題として事務局にて関係機関の協力も得て検討

【土砂災害】

情報名称の最終決定は、法制度や実際の情報の運用、伝え方なども踏まえ、気象庁・国土交通省が行う

<現状>

土砂災害に関する情報		
発表主体	都道府県と気象台	気象台
発表単位	市町村ごと	市町村ごと
発表指標	60分雨量 (解析・予測) 土壌雨量指数 (解析・予測)	土壌雨量指数 (解析・予測)
情報名称	5相当	大雨特別警報 (土砂災害)
	4相当	土砂災害警戒情報
	3相当	大雨警報 (土砂災害)
	2	大雨注意報

<改善 (イメージ)>

土砂災害に関する情報		
発表主体	関係機関が協力して発表	
発表単位	市町村ごと	
発表指標	60分雨量 (解析・予測) 土壌雨量指数 (解析・予測)	
情報名称	5相当	レベル5土砂災害特別警報
	4相当	レベル4土砂災害警報
	3相当	レベル3土砂災害警報
	2	レベル2土砂災害注意報

【高潮】

<現状>

高潮に関する情報		
発表主体	都道府県	気象台
発表単位	沿岸ごと	市町村ごと
発表指標	潮位 (実況)	潮位 (実況・予測)
情報名称	5相当	高潮氾濫発生情報
	4相当	高潮特別警報 高潮警報
	3相当	警報に切り替える可能性が高い 高潮注意報
	2	高潮注意報

<改善 (イメージ)>

高潮に関する情報		
発表主体	関係機関が協力して発表	
発表単位	沿岸ごとまたは市町村ごと※	
発表指標	波浪のうちあげ高 (実況・予測) 潮位 (実況・予測)	
情報名称	5相当	レベル5高潮特別警報
	4相当	レベル4高潮警報
	3相当	レベル3高潮警報
	2	レベル2高潮注意報

※ 情報利用者の視点も踏まえつつ、引き続き関係機関で検討